

松阪市は 松阪市

子どもたちの 支持

チャレンジを応援します！

孩子们的挑战

住んでいる街を花いっぱいにしたいな。想让居住的城市开满鲜花。



将来作曲家になりたい。
だから、専門家に教えてもらいたいな。因为将来想当作曲家，所以想请专家指导。



応募受付期間 报名受理期间

令和7年
5/26月

～

令和7年
6/13金

チャレンジ応援金(上限) 個人10万円 団体20万円

挑战支援金 (上限) 个人 10 万円 团体 20 万円



チャレンジ取組期間 挑战期 令和7年8月～令和8年3月

チャレンジ報告会 挑战报告会 令和8年3月(予定)

1 羽ばたけ子どもたち！チャレンジ応援事業とは

为了让孩子们能展翅飞翔！支持挑战的事业

○子どもたちの将来の夢の実現につながる活動で、おおむね1年以内に達成できることにチャレンジする個人及び団体に対する応援金の交付により、子どもたちの夢の実現を支援する事業です。

这是一项为了使孩子们将来的梦想得以实现的活动。通过对在大概一年内能达成的目标进行挑战的个人以及团体进行资金援助，以此来支持孩子们梦想实现的事业。

○応募された中からチャレンジを選出して、その実現を松阪市が応援します。

在报名者中挑选出挑战者，由松阪市支持并帮助挑战的实现。

○子どもたちを応援することで、松阪市教育ビジョンの基本理念である「夢を育み 未来を切り拓く松阪の人づくり」の実現を推進します。

通过支援孩子们，来推进松阪教育理想的基本理念「孕育梦想 开拓未来 培养松阪人才」的实现。

2 応募資格 报名资格

○小学4年生から中学3年生(松阪市に在住又は在学)

小学四年级至中学三年级 (住在松阪或在松阪求学)

※上記の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要があると認めた場合は、交付対象とします。

不符合上述规定时，如有教育委员会特别许可，也能申请报名。

※対象外となる場合 以下为不符合的条件

(1)市から他の補助金等の交付を受けている場合 已从市里接受其他补助。

(2)他の自治体から同様の趣旨の応援金等の交付を受けている場合
已从其他地方政府接受了类似目的的支援金。

(3)小学校及び中学校の部活動の一環としてチャレンジする場合

中小学以学校俱乐部活动的一环进行挑战。

(4)その他教育長が不適当と認めた場合 此外、教育长认定为不适当时。

3 応募締切 报名截止日期

○令和7年6月13日(金) 为止 松阪市教育委員会必着 必须送达至松阪市教育委员会

■実施内容・応募方法について■ 実施内容・報名方法 まずはホームページをご覧ください 请先浏览网页

<https://www.city.matsusaka.mie.jp/soshiki/72/r7habatake.html>

■問い合わせ先■ 咨询处

515-8515 松阪市殿町1315番地3 松阪市教育委員会 学校支援課 TEL0598-53-4403

4 応募方法 报名方法

○応募用紙に必要事項を記入の上、在籍する学校(市立 小中学校のみ)または応募フォームより提出してください。ただし、枠が足りない場合は、A4用紙1ページ以内にまとめ、あわせてご提出いただいても結構です。

请在报名表上填好必要事项后交与所在的学校(仅限市立中小学)或教育委员会。如报名表框内写不下，可另归纳于一张A4纸后和报名表一起提交。

○応募は、1人(1団体)1チャレンジ(個人・団体のいずれか)

报名时，每1个人(每1个团体)都只能参加一项挑战(以个人或团体参加)

5 選考方法 选考方法

①一次選考：内容の積極性や実現性等を審査します。

一次考核：审查内容的积极性以及可实现性等。

②二次選考：一次選考での選出者を対象に、審査員(教育長等)が二次選考会で、審査基準(熱意・着眼点・実現可能性等)を基に、より強い想いが伝わるチャレンジを、今年度の代表として選出します。

二次考核：在一次考核通过的参加者中，以审查基准(热忱度・着眼点・实现可能性)为基础，选出拥有更强烈挑战意愿的报名者。

○選考結果は、8月上旬に市ホームページで発表します。

选考结果在8月上旬发表于市主页。

6 夢の実現に向けて 面向梦想的实现

○選ばれた場合、翌年3月までにチャレンジに取り組んでいただきます。

当选者请在第二年的三月为止实施您的挑战。

○チャレンジの実現に必要なお金は、最大個人10万円、団体20万円までを市が負担します。

为了实现挑战所需的资金，个人最高为10万円、团体最高为20万円由政府出资。

○選ばれたチャレンジの内容は、その応募者の名前とともに各種情報発信を行います。

对外传达当选者的挑战内容、姓名等各种信息。

○チャレンジの実施後、多くの方に向けた報告会で、体験や経験の成果を応募者本人に報告していただきます。

挑战实施后，请挑战者本人在发表会上向众人汇报体验、经验以及成果。

